

令和6年度事業報告書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

特定非営利活動法人
脳損傷友の会高知 青い空

1 事業の成果と課題

令和6年度も、月例会(毎月第3日曜)、女子会(毎月第2土曜)、中土佐町つどい処(奇数月第4土曜)を継続して実施した。月例会は一度も中止せず開催できた。9月にはバーベキュー大会、12月には第10回Hi-Six42.195kmリレーマラソン(ハーフの部)に出場、3月には花見を行い、当事者・家族・支援者間で親睦を深める機会をもてた。女子会はZoomを併用したハイブリッド形式で行い、当事者・家族・支援者の意見交換の場となっている。

指定障害福祉サービス事業所(就労継続支援B型)青い空は、開所日数=255日(-10日)、延べ利用者数=7,659人(+643人、+9.1%)、1日平均利用者数=30.03人(+3.55人、+13.4%)、延べ作業時間=35,199時間(+3,305時間、+10.3%)、工賃支払総額=5,457,455円(+561,515円、+11.4%)、平均時給=155円(+1.5円、+1.3%)となり、昨年度からは平均時給が前年度比プラスとなった。今後も利用者増が見込まれるため、新たな収入源を得ることが急務である。

事業所では、浄水器カートリッジやガスマーテー等の機械類の解体、レザークラフト、資材販売、長浜や仁淀川町での農作業などを行った。特に浄水器カートリッジや機械類の解体は、供給が不安定な面があるものの、大きな収入源となっている。レザークラフトでは「高知県漁業監督吏員・司法警察員証票ケース」の初受注を受け、今後の継続が期待される。また、第25回障害者作品展に出演し、レザーオーレットやキーホルダーを販売し利用者にとって接客経験の場となった。農業面では、長浜で八升豆の栽培を開始したが、種まきが遅れ収穫量が少なかったため、令和7年度は早期の種植えに取り組む。仁淀川町での楮栽培は年々収穫量が増えているが、安定収入には至っていない。

「Cafe Blue Sky(近森リハ病院内)」は2019年2月よりコロナの影響で休止していたが、再開の目途が立たず閉店となった。越知町で運営している「おちつき処」では集客対策として日替わり定食の提供を開始し、SNSでの情報発信により認知度が向上、年度末にはInstagramフォロワーが250名に到達し、売り上げも向上している。さらに越知町障害保健福祉課・企画課の協力で、地元の農家が生産した野菜や果物を活用した定食提供を、次年度から始めることとなっている。

令和6年度も高知県から委託を受け、近森リハビリテーション病院と共同で高次脳機能障害支援拠点センターを運営し、相談対応、研修会や家族教室の実施、普及啓発活動に取り組んだ。また、厚労省から令和6年度障害者芸術文化活動普及支援事業における中国・四国ブロック広域支援センターを受託し、研修会やブロック会議等を実施、自主事業の企画にも注力した。

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
理解を広めるための事業	つうしんブルースカイ発行 日本高次脳機能障害友の会 全国大会参加 アメニティフォーラム参加	4回発行 令和6年10月 令和7年2月	事務所 滋賀県大津市	2~3人 5人	会員・医療・福祉・行政150部
社会参加を促進するための事業	BBQ大会 Hi-Six42.195kmリレーマラソン 花見大会	令和6年9月 令和6年12月 令和7年3月			
相談、調査、支援事業	月例会 女子会 つどい処	第3日曜 第2土曜 奇第4土	青い空 青い空 つどい処		当事者・家族・医療関係者等 12~20人
障害福祉サービス事業	就労継続支援B型事業 青い空	平日8:30~17:30	青い空	7人	登録者46人
	高次脳機能障害相談所 青い空	平日10:00~16:00	青い空	3人	高次脳機能障害を呈し利用を希望する者。
居宅・介護予防サービス事業	該当なし				
目的を達成するために必要な事業	高知県高次脳機能障害支援拠点センター 中国・四国Artbrut Support Center passerelle	平日8:30~17:00 平日8:30~17:00	近森リハビリテーション病院 青い空	3人 2人	支援者および当事者、行政関係者 各支援センター、行政関係者

(2) その他の事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
物品・食品等の製造及び販売事業	該当なし				
出版物の販売及びビデオ等の貸し出し事業	該当なし				